



高岡 **北**
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30	創立・1980年5月19日	会長 上田 正宙
例会場・ホテルニューオータニ高岡	認証・1980年6月12日	幹事 長澤 貴士
	国内創立順位・1489	公共イメージ委員長 八塚 昌俊

第1980回 例会 8月 25日(月)

◇点 鐘

◇ソング =四つのテスト=

◇ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：ガバナー 小山 英一 様 (小松東RC)

富山第4グループ ガバナー補佐

魚住 晃一 様 (高岡北RC)

地区副幹事 能登 清三 様 (小松東RC)

米山記念奨学生 アヨブ・アテシャム様

◇会長挨拶並びに報告

本日は小山ガバナー、能登地区副幹事、そして、魚住ガバナー補佐、お越しいただきありがとうございます。

例会前に懇談会を行い、優しくご指導をいただきました。私たちの北クラブの活動の中身も良くご存じで、その中身の詳細について触れていただきました。ありがとうございます。一生懸命努めていきたいと思っております。

また、今日は粗食例会で、私たちは年二回粗食例会をしており、その差額を財団に寄付しております。その1回を本日させていただきます。

この間、黒い礼服をお召しになった30代のご夫婦が私の職場にいらっしゃって「先日の父の時には大変お世話になりました。」とお菓子とお包みを持ってこられました。私は全く心当たりがなく、「何のことですか？」とお伺いしましたが、「お陰様で父を見送ることができたお母が申しておりました。」と言われ、「あの、ここはお寺ではなく神社なのですが。お葬式を上げたのも私ではないです。」と言いました。本当に勘違いされ、お寺とお宮の区別がつかないものなのだなと思っておりました。それぐらい私たちが大事にしてきたものがちゃんと伝わらなくなってきたのかなと思ひ、もしかしたら、私たちの世代がちゃんと伝えることが大事なのかなと思ひました。神社の話の中で、すべての大事なことは孫に伝えるということがあります。子に伝えることは難しく、孫は素直に聞いてくれる。祖父母の行動を見ているのが孫で、祖父母が

亡くなった後、孫が急に話したり仏壇に手を合わせたりするそうです。古代から大事なことは孫に伝えよと言われておりますので、皆様、今子供とけんかしていても、孫が祖父母の思いをちゃんと汲んでくれるはずで、私たちの仕事は、社員や家族に伝えていくことだと思っております。アヨブ君も今日はよろしくお祈りいたします。

◇ニコニコBOX報告

小山英一ガバナー：公式訪問にまいりました。宜しくお願い申し上げます。

能登清三地区副幹事：公式訪問にまいりました。よろしくお祈り申し上げます。

魚住晃一ガバナー補佐：本日は公式訪問です。先週は緊張して食事ものを通りませんでした。今日は絶好調です。よろしくお祈りいたします。

上田会長：小山ガバナー様、魚住ガバナー補佐様、能登地区副幹事様、本日はありがとうございます。一生懸命頑張ります。

八塚昌俊君：小山ガバナー、猛暑の中公式訪問に来ていただき、ありがとうございます。まだまだ暑い日が続く大変だろと思いますが、御身体に気を付けて頑張ってください。

野尻信晴君：すだれをくぐって夏がすぎて行きます。そしたらおわら風の盆がはじまります。

藤井史子君(ルミナスRSC)：テクノドーム別館設計プロポーザルで最優秀に選定されました。

【今年度ニコBOX累計額 80,000円】

◇幹事報告

- 1) 本日例会終了後、親睦活動委員会を開催します。
- 2) 次回、9/1(月)は、米山記念奨学生アヨブ・アテシャム君の卓話です。
- 3) 回覧：①2026-2027年度 派遣交換学生募集要項 (テーブル毎・最終)
②会報NO.5 (テーブル毎)

◇本日のプログラム (担当：会長)

ガバナー公式訪問

「誰もが笑顔でいこちの良いクラブ」

ガバナー 小山 英一 様



地区テーマ

『みんなで参加しよう みんなで行動しよう』

基本方針

第2610地区全会員の積極的・継続的な参加を促す(みんなで)

地区3年間の目標 3-Year Rolling Goals

『誰もが笑顔でいこちの良いクラブ』

地区・クラブの向かう方向 = 行動計画

○行動計画達成に向けて当面3年間のクラブ目標を立てましょう

- 1) 計画的な会員増強と会員の帰属意識を高める
例会・事業活動・親睦活動などすべての活動にDEIの意識
- 2) 工夫を凝らした継続事業の推進
(財団補助金の利活用)
大きなインパクトをもたらす事業活動
- 3) 計画的なクラブリーダーの育成
RLI研修会への積極的な参加とラーニングの実践
- 4) クラブの強みを伸ばす 弱みを改善する
クラブの現状把握からスタート
- 5) 地域における存在価値を高める新事業への挑戦
公共のイメージアップと参加者の基盤を広げる実践
- 6) 計画的なクラブ運営・組織の見直し
- 7) 能登半島地震・豪雨災害復興への計画的な支援活動

○運営組織をクラブ内に位置づけていきましょう

- 1) 地区行動計画推進・危機管理委員会の設立
地区行動計画推進リーダー他14名の委員を選任
4つの優先事項に沿って3年間の具体的な数値目標を立てる
地区13委員会が3年間の具体的な数値目標をたてて取り組む
- 2) クラブ行動計画推進リーダー63クラブ選任
3年間の行動計画を推進する運営組織(委員会など)を立ち上げる
クラブ3年間の具体的な目標を立てる

<「よいことのために 手を取りあおう」を実現するための地区・クラブにおけるポイント11 >

1. ロータリーを楽しみましょう
2. クラブ3年間の目標(行動計画推進のための具体的な計画)を立てましょう
中長期の具体的な計画を立て「クラブの強み」を伸ばしましょう
地区の各委員会も3年間の目標を立てて事業活動を展開します
3. 63クラブ純増60名を達成しましょう(退会者0に取り組みましょう)
2610地区会員数目標 2,580名
新しいクラブモデルへの挑戦
ローターアクトクラブ新設
4. 例会・奉仕活動・親睦活動などにDEIの意識を大切にしましょう
「みんなで参加しよう みんなで行動しよう」の実践
「誰もが笑顔でいこちの良いクラブ」づくり
5. 年次寄付目標 1人当たり 150ドル
6. ポリオ寄付目標 1人当たり 30ドル
チャリティーランチ継続(ガバナー公式訪問時など)
ポリオ根絶キャンペーン実施(こまつどんどん祭り)
ポリオ根絶ゴルフ大会の実施
7. 米山奨学会寄付
普通寄付 1人当たり 6,000円
特別寄付 1人当たり 10,000円
米山奨学生新規お世話クラブ大歓迎
8. 「ラーニング」について学ぼう・実践しよう(学び方を学ぶ)
RLIに参加しよう 1回60名 話し合いにラーニングを取り入れよう
RLI委員会ファシリテーター30名
9. 国際青少年交換 Rotary Youth Day 若者300名以上参加つながり
10. My ROTARY 登録60%以上
11. 地域に根差した新事業に挑戦しましょう
事業者団体・専門職団体・学術機関などとの協力



◇出席報告 出席者 22名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	8/8例会修正出席率
1名	32名	78.57 %	60.0 %